

①授業をするための教材研究が非常に大切だと感じました。知識量を増やすことで、生徒に正しいことを教えられることがもちろんですが、授業をスムーズに進めることができたり、自分自身の心に余裕ができ臨機応変に対応することができたりすると思います。また、事前準備は、授業を行う上で特に重要だと感じます。教材研究も事前準備の一つですが、授業で使うものがどこにあるのか、教具の安全性はどうかなどしっかり確認しておくことを忘れてはならないと思います。走り幅跳びの授業の際、2・3限目と連続していたにもかかわらず準備をしていなかったことで、とんぼが壊れていたことに気づかず、対応が遅れてしまい、チャイムと同時に授業がはじめられないことがありました。必要なものが揃っていない学校もあるので、できるだけ早く確認しておくことが重要だと感じました。また、生徒の実態、クラスの実態にあわせて指示の仕方や学習活動の進め方を変えていくことが非常に大切だと学びました。生徒が主体的に取り組めるような学習活動を進めながらもそれぞれの個性を引き出せるような指導の仕方を模索していました。授業の中で、生徒と対話をしたり先生が実際に実技をやって見せたり、自身の話をすることで、生徒が興味・関心をよリモってくれたのではないかなと感じます。

②生徒との交流では、“小さなコミュニケーションの大切さ”を強く感じました。丁寧な指導を行う中で、生徒一人一人と向き合い、長い時間をかけて指導するだけではなく、挨拶・視線・声の高さ・顔色など短い間に交わされる瞬時のコミュニケーションの機会を大切にして、その瞬間に何か一声かけることが非常に重要だと思いました。ホームルームや授業中だけではなく、廊下ですれ違うときや掃除の時間も生徒と向き合う大切な時間であり、担任や担当の先生だけではなく、すべての先生が生徒一人一人を支え指導していくという認識が重要なのではないかと感じます。また、体育学習は、ただ身体を動かし技術を習得するだけではなく、仲間と常にコミュニケーションをとり自身や仲間の成功を喜び合うというような心も大きく動かすものだと思います。ただ、淡々と実技をしているだけでは不十分だと感じます。成功体験を通して自尊心を高めることができたり時には悔しい思いをしてもっと努力しようと感じたりなど、体育の授業を通して、自身を確立していくことが実技を行う意義だと思いました。やはり授業をしていても、生徒の心までを動かすことができたときは雰囲気も良く技術の習得もより高いレベルで瞬時に達成できたと感じました。生徒は一人一人個性や強み・持ち味があるので、それらを出せるような授業が大切だと学びました。

③職員室や教官室の先生の机は整理整頓されており、非常に気持ち良く教育実習をさせていただきました。また、各教科や学年担任と情報を交流して、誰でも対応できるように準備をしていることが印象的でした。「教官室は授業の前や出勤・退勤など用事があるときだけ滞在し、生徒たちと関わる時間を多くしている」と指導教諭から教わり、非常に大切なことだと感じました。また、生徒が「失礼します」と入室してきたら「はい」と返事をしたりリアクションをとったりするようにしていると教えて頂き、②でも述べたように生徒とのコミュニケーションの場としてもすごく重要だと思いました。また、保健体育の授業だけでなく、担任を持っていると保護者対応や学級運営に関わる仕事、部署に所属しているとそれ

それぞれの部署での仕事、それに加えて部活動など非常にやらなければならないことが多いと感じました。私が教育実習に行かせていただいた学校では、6がつく日は17時に退勤するというものに取り組んでいました。家で仕事をしなければならないこともありますが、しっかりプライベートの時間を確保して、働き方改革だけではなく働きがい改革も行っていくことが重要だと思いました。保健体育科では、専門種目である競技を教員同士で教え合っている場面を多く見るがありました。より良い授業にするために、学び続け、挑戦し続ける姿勢が大切なことを学ばせていただきました。

④教育実習全般にわたって大切だと感じたことは繰り返しにはなりますが3つあります。1つ目は、事前準備の大切さです。教材研究だけではなく、事前訪問の際に先生に、生徒の実態を伺い、実態にあわせて、それぞれのめあて、課題を考え、示したり、授業で使用する道具の確認、教具の安全性を確かめたりすることが非常に重要です。そのような事前準備をしっかりと行うことでそれぞれの実態に合わせた確かな指示や授業の進め方をすることができました。2つ目は、コミュニケーションの大切さです。より良い授業を作るためにも学校生活を安心安全、豊かに過ごすためにも重要なことです。まずは挨拶などの一瞬のコミュニケーションを大切にすることが必要だと感じます。3つ目は、学び続ける姿勢を大切に、挑戦し続けることです。授業に正解はなく、どんな授業をしても改善する点がでてきます。自分が行った授業を自身で振りかえることはもちろん、見に来てくださっていた先生方に話を伺い行き、アドバイスを頂いたりすることが非常に大切です。教育実習を通して、自身が人として成長できたと思います。教育実習で学ばせていただいたことを今後の糧にしていきたいと思っています。